

## 平成 23 年度 第 2 回 帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事概要

### ●第 2 回 審議会

日 時 平成 24 年 2 月 17 日(金)午後 4 時～午後 5 時 30 分

会 場 帯広市役所 10 階 第 5A 会議室

出席委員 一ノ渡 末子、大松澤 友里恵、角田 征男、工藤 征紀子、  
今野 花南乃、齊藤 雅俊、末岡 さつき、鈴木 眞理子、  
瀬尾 美由紀、惣角 智英、曾我 浩昌、高薄 充、谷崎 千枝子、  
中川 孝司、福田 治、村上 早苗、山崎 育子、渡邊 芳之  
20 名中 18 名

事務局 原市民環境部長、柴田清掃担当調整監、長江清掃事業課長  
中田業務担当課長、岡安清掃事業課長補佐、森田管理係長、菅原主  
任、生駒主任、西本主任、中村主任補 全 10 名

傍聴者等 報道関係 0 名

### ○ 報告事項

- ・ 平成 24 年度一般廃棄物処理実施計画(案)について
- ・ 平成 24 年度清掃事業課予算概要

### ○委員から出された主な意見

- ・ 女性のごみ分別意識は高いが、男性や子供のごみ減量・資源化についての意識が浸透していない。男性・子供への指導・啓発を徹底する必要がある。
- ・ カラスによるごみステーションの飛散対策を推進し、検証をする必要がある。
- ・ 過剰包装によるごみの発生を抑制する為、消費者や企業側とも簡易包装への意識の向上を図る必要がある。
- ・ ごみポイ捨てが町内会で問題になっている。もっと不法投棄や排出マナーに対する啓発を強化する必要がある。
- ・ 小学生への環境学習支援事業を推進し、同時に親へのごみの減量に対する意識の向上を図る必要がある。
- ・ JC など各種団体と連携して、ごみ減量イベントの開催を推進する必要がある。

### ○配布資料

- ・ 平成 24 年度一般廃棄物処理実施計画(案)
- ・ 平成 24 年度予算概要(見込み)
- ・ 平成 24 年度 清掃事業課の新しい事業など